

21世紀COEプログラム

——世界に類をみない研究教育活動を推進します——

昨年度から開始された文部科学省の事業「21世紀COE (Center of Excellence) プログラム」。わが国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を学問分野ごとに形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を計るため、重点的支援を行い、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進することを目的とします。今回、同志社大学から、「社会科学」分野で「技術・企業・国際競争力の総合研究」、「学際・複合・新領域」分野で「一神教の学際的研究」が採択されました。今後五カ年で計画を実現していきます。

「技術・企業・国際競争力の総合研究」

拠点リーダー 中田喜文 大学院総合政策科学研究科教授

日本企業、そして日本経済の国際競争力を再構築するため、今、最も必要とされる技術と革新的経営・T・I・M (Technology & Innovative Management / 造語) についての総合的研究を行います。文理横断的な学問背景を持つ多国籍の研究者集団が、オープンな産官学連携組織で国際比較手法を用いて、その研究を推進する点が特徴。①技術戦略、②革新的経営と組織、③国際競争力という三つの研究領域を設定し、十の個別研究プロジェクトを計画しています。①にはカリフォルニア大学のブラウン教授をリーダーとする「R&D 技術者と知識創造」や「ハイテク産業における起業」、他三プロジェクト、②には、ケンブリッジ大学のディーキン教授をリーダーとする「経営革新とコーポレートガバナンス」や「技術革新と人

的資源管理」等三プロジェクト、③は、同志社大学オムロンチエアプロフェッサーのコール教授をリーダーとする「情報通信産業の国際競争力」他四プロジェクトがあり、相互に関連付けながら、推進していきます。また、その成果は同志社大学という一大学の枠を超え、全国さらには世界の大学院博士課程院生に対する国際オープン教育プログラムの創設へ還元していくとともに、複数のメデ

Academic Publication
「Asian Business Management」,
Working Paperの発行

Virtual Info. Platform
Web上での
ビジネスケースと
出版物の公開

Conference / Seminar
3大学連携
国際シンポジウムを開催

TEC Club
産官学の交流と政策提言

Tutorial / Workshop
内外の若手研究者に
公開指導を行う

研究、教育計画推進による多様な社会還元

イアを活用しながらリアルタイムで世界へ向けて公開していきます。具体的には、「三国際拠点共同編集ワーキングペーパーシリーズ」(Working Paper Series on TIM)の発行やTIM事例に関する五十のビジネスケース(1/3は京都型モデル)作成とそのデータベース化、また教育面においては日米欧三国際拠点連携方式によるTIMに特化した独立大学院プログラムの開設や、世界の大学院生を集めたTIMに関する国際ワークショップの開設などを順次実行していきます。

「一神教の学際的研究

— 文明の共存と安全保障の視点から —

拠点リーダー 森 孝一 大学大学院神学研究科教授

文明の共存をめざすスペシャリストの養成を最重要課題とし、あらたに設立した「一神教学際研究センター」において、三つの一神教と、それを中核とする世界と文明についての、学際的でトータルな研究を行います。

地域研究、国際関係、安全保障、科学史を含んだ学際的で総合的な研究を行い、研究を政策提言にまで結びつけようという意欲を、本プログラムは持っています。具体的には中東、アメリカ、EU、東南アジアの諸大学・諸研究機関と学術交流関係を構築し、共同で、国際ワークショップと国際シンポジウムを実施します。また、学術ジャーナル「比較一神教研究」を英語・アラビア語・日本語で刊行し、「世界へ向けての研究成果の発信」を行います。さらに、「三宗教聖職者交流会議」を開

催し、三つの宗教の現場で、共通に直面している課題について、聖職者間で相互理解を深めます。

三つの宗教の現場の情報を本プログラムの教育研究に生かすとともに、本プログラムの研究成果を宗教の現場に伝達し、各宗教において、共存と共生のための自己変革が進むことが期待されます。

あらたに、一神教研究についての世界最高水準の学術ウェブ・サイト(上記の複数言語)を構築し、「研究者間の情報ハブ」としての役割を本センターが果たすこともめざしています。

同時に、文明間対話の担い手となるスペシャリストの養成を行うため、「チュートリアル・エデュケーション」「オンサイト・エデュケーション」「インディペンデント・エデュケーション」の三つの教育プロセスを設けるほか、一神教学際研究センターの海外拠点として、大学院生が異文化理解の実際を経験するための拠点として、マレーシアに「異文化理解・語学研修センター」を設けます。

